

共和会が出来たから三年も職工に与えられたり利益があること
をしてゐる平素の交渉委員会に於て今回の様な不安
解雇に對して諸君は共和会の正体即ち純然たる会社
の御用団体であるといふことをハッキリと知つた事と信する
今日かゝる御用組合を尚存在さすのは諸君の恥辱と
ある労働者の利益は單なる口先のゴマカシの議論で
守れるものでない實際の行動に依つて立證しなければ
ならぬ御用組合を葬るの諸君の才一にはおそれから
ぬことである労働者の利益は労働組合に依つて守
ること増進することもある我々が飢餓の死をかうか
少しも煩着せずボソク首を切る資本家是一片人々の
しん氣持があるものか何と云ふても労働者は艱難的
なして全国的な組合に這入つて大勢の労働者に団
結されたる方に依つて賃銀の値下を喰止む時々の延
長を防ぎ解雇に反對せねばならぬ亦これに依つて
みおし得るものである
諸君はお互の爲めに皆結束しやうといひ

八時労働を維持せよ
収入の減少を防げ
不当解雇に反対せよ
解雇半金を増額せよ

大正十四年十二月